

計画事業番号	00835	事務事業名	広聴活動事業	担当部署	市民環境部市民課	電話	2302
--------	-------	-------	--------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	「きたひろしま市民の声」取扱規程				
事務事業開始年度	-	個別計画等	-				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章) 快適な生活環境のまち (第 9 節) 情報公開・広報広聴の充実 (施策 4) 広報広聴活動の充実
2 対象	市民等、各自治会・町内会、各種団体・サークル、各連合自治会 等
3 目的と内容	多様化・複雑化する市民ニーズの的確な把握と、市民と行政との共通理解を深めて協働によるまちづくりを進めるため、市政懇談会や出前トーク、出前講座等の開催するほか、市民の声などの各種広聴活動を実施する。
4 実施内容(手段)	<p>2017年度まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民の声、各種団体等の要望～意見、要望等の受付・回答及び概要の作成。 ●市政懇談会～年1回、開催希望連合町内会の会館等で実施。(参加者は各連合町内会に一任) ●市民見学会～市内の公共施設や工場等を見学。(広報で参加者募集) ●出前トーク～市長が地域に直接出向き、市民と意見交換を実施。 ●出前講座～職員が地域に出向いて市の施策や制度などさまざまなことについて説明。 ●よくある質問Q&Aの公表 ～市に寄せられた多くの問い合わせ・質問とその回答をホームページに掲載し、市民に情報を公表。 <p>2018年度</p> <p>昨年同様、多様化・複雑化する市民ニーズの的確な把握するため、まちづくりに対する意見や要望を随時受け付けるとともに、市政懇談会や出前トーク・出前講座等を実施し、市政に対する相互理解を図る。</p>

【事業の計画・実績】

2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
市民、各種団体等からの意見や要望等の受付、集約及び回答 出前トーク、出前講座の実施 よくある質問Q&Aの公表 市民見学会の実施 市政懇談会の開催 市政懇談会テーブル起こし	市民の声受付 439件 出前講座 89回実施 2,417人参加 出前トーク 1回実施 よくある質問Q&Aの公表 市民見学会 20人参加 市政懇談会 10連合町内会 208人参加	市民、各種団体等からの意見や要望等の受付、集約及び回答 出前トーク、出前講座の実施 よくある質問Q&Aの公表 市民見学会の実施 市政懇談会の開催 市政懇談会テーブル起こし	市民、各種団体等からの意見や要望等の受付、集約及び回答 出前トーク、出前講座の実施 よくある質問Q&Aの公表 市民見学会の実施 市政懇談会の開催 市政懇談会テーブル起こし	市民、各種団体等からの意見や要望等の受付、集約及び回答 出前トーク、出前講座の実施 よくある質問Q&Aの公表 市民見学会の実施 市政懇談会の開催 市政懇談会テーブル起こし	市民、各種団体等からの意見や要望等の受付、集約及び回答 出前トーク、出前講座の実施 よくある質問Q&Aの公表 市民見学会の実施 市政懇談会の開催 市政懇談会テーブル起こし	市民、各種団体等からの意見や要望等の受付、集約及び回答 出前トーク、出前講座の実施 よくある質問Q&Aの公表 市民見学会の実施 市政懇談会の開催 市政懇談会テーブル起こし	市民、各種団体等からの意見や要望等の受付、集約及び回答 出前トーク、出前講座の実施 よくある質問Q&Aの公表 市民見学会の実施 市政懇談会の開催 市政懇談会テーブル起こし

【評価結果・評価コメント】

総合判定		2019年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	市民と協働のまちづくりを進めていくためには、各種広聴事業を通じて多様化する市民ニーズを的確に把握することが重要であることから、継続して取り組んでいく。 また、さらに有効的な推進のため、市政懇談会等の活動手法を見直していく。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度		
決算額、当初予算額又は推進計画額		21	25	29	29		
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0	
		道支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	0	0	
		一般財源	21	25	29	29	
	① 合計	21	25	29	29		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.75	0.00	0.40	0.45	0.40	0.45
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
	④ =②×③	6,300	0	3,360	2,025	3,360	2,025
	総事業費①+④	6,321	5,410	5,414	5,414		

【評価指標】

指標名		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
活動指標	①市民の声受付件数	目標値				
		実績値	439			
	②出前講座、出前トーク開催数/参加人数	目標値	100/3000	100/3000	100/3000	100/3000
		実績値	90/2447			
③市政懇談会開催数/参加人数	目標値	11/275	11/275	11/275	11/275	
	実績値	10/208				
④市民見学会参加人数	目標値	40	40	40	40	
	実績値	20				
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	③	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	市民と行政との共通理解を深めて協働によるまちづくりを進めるためには、市民等からのニーズを把握することが重要であり、広聴活動は前提となるものであることから、有効かつ妥当なものとする。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	市民等からの意見や要望を把握して確実な回答を行っている。また、意見や要望に対しては、各課においてその必要性・実現性を検討して施策等に反映している。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	市政懇談会をはじめ、出前トークや出前講座、市民見学会のほか文書、電話、メール、窓口などで様々な広聴活動を行っているが、より有効的な市民の声を聴くために市政懇談会等の活動手法の見直しを行うこととする。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	最低限の経費であり、コスト削減は難しい。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---